

浜田ビューティーカレッジ シラバス						
科目名	美容実習	課程	職業実践専門	単位数	15	美容師(実務経験あり)
授業形態	実技	学年	1	時間	450	
学習到達目標	・美容理論を応用し、個々の顧客の要望に応じた美容技術を提供できるようになる。 ・大会、コンテストなどの技術練習。					
使用教科書等	(日本理容美容教育センター)					
学 習 計 画						
	大単元	中単元				時数
	シャンプーイング	復習				450
	パーマネントウェービング	ワインディング				
	ヘアセッティング	ヘアウェービング				
		アップスタイル				
	カッティング	ワンレングス、セイムレイヤー、レイヤー				
評価方法	実技 ・授業態度 ・出席状況					
その他						

浜田ビューティーカレッジ シラバス						
科目名	衛生管理	課程	職業実践専門	単位数	1	美容師(実務経験あり)
授業形態	一斉授業	学年	1	時間	30	
学習到達目標	・公衆衛生の意義と本質とを明確にし、美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならないことを十分に理解する。					
使用教科書等	(日本理容美容教育センター)					
学 習 計 画						
	大単元	中単元				時数
公衆衛生	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題				30
		公衆衛生発展の歴史				
		公衆衛生の具体的な課題と領域				
		理容師・美容師と公衆衛生				
		保健所と理容業・美容業				
	保健	保健				
環境衛生	環境衛生	環境衛生の概要				
		空気環境				
		衣服・住居の衛生				
		上・下水道と廃棄物				
		衛生害虫とネズミ				
		環境保全				
評価方法	定期考査 ・ 小テスト ・ 授業態度 ・ 出席状況					
その他						

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	美容保健	課程	職業実践専門	単位数	2	美容師(実務経験あり)
授業形態	一斉授業	学年	1	時間	60	
学習到達目標	美容技術の基礎となる人体の仕組み、特に皮膚及び毛髪の構造と機能について理解する。					
使用教科書等	(日本理容美容教育センター)					

学 習 計 画

	大単元	中単元	時数
人体の構造及び機能	頭部・顔部・顎部の体表解剖学	人体各部の名称	60
		頭部、顔部、顎部の体表解剖学	
	骨格器系	骨の種類と構造	
		骨の連結	
		骨格器系とそのはたらき	
	筋系	筋の種類とその特徴	
		主な骨格筋とそのはたらき	
		表情筋と表情運動	
		理容・美容の作業と疲労筋	
	神経系	神経のなりたち	
		中枢神経とそのはたらき	
		末梢神経とそのはたらき	
	感覚器系	視覚	
		聴覚・平衡感覚	
		味覚	
		嗅覚	
		皮膚感覚	
	血液・循環器系	血液のあらまし	
		血液循環の仕組み	
		血液の循環経路	
		心臓と血管のはたらき	
		リンパ管系の仕組みはたらき	
	呼吸器系	呼吸器系のあらまし	
		気道	
		肺の仕組みとガス交換	
		呼吸運動	
	消化器系	消化器系のあらまし	
		消化管の仕組み	
		消化管のはたらき	
		消化と物質代謝	
評価方法	定期考査 ・ 小テスト ・ 授業態度 ・ 出席状況		
その他			

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	文化論	課程	職業実践専門	単位数	1	担当	琴野
授業形態	一斉授業・実技	学年	1	時間	30	備考	

学習到達 目標	○文化に関する歴史を知り、新しい文化を創造する礎とする。
使用教科 書等	『文化論』（日本理容美容教育センター）

学 習 計 画

	大単元	中単元	時数
	第1章 総論	総論	30
	第2章 日本の理容業・美容業の歴史	理容業・美容業の発生	
		江戸時代の理容業・美容業	
		近代の理容業・美容業	
		現代の理容業・美容業	
	第3章 ファッション文化史 日本編	縄文・弥生・古墳時代	
		古代(飛鳥・奈良・平安時代)	
		中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代)	
		近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)	
		近世Ⅱ(江戸時代)	
		現代Ⅰ(1945年～1950年代)	
		現代Ⅱ(1960年代～1970年代)	
		現代Ⅲ(1980年代～1990年代)	
現代Ⅳ(2000年代以降)			
評価方法	定期考査 ・ 小テスト ・ 授業態度 ・ 出席状況		
その他			

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	ビジネスマナー	課程	職業実践専門	単位数	1	美容師(実務経験あり)
授業形態	一斉授業	学年	1	時間	30	
学習到達目標	エチケットやマナーの基本は他人に対する心遣いであることから、基本のマナーや言葉遣いや慶弔時のマナーを学習する					
使用教科書等	『関係法規・制度』香粧品化学(日本理容美容教育センター)					

学 習 計 画

	大単元	中単元	時数
	社会人としての基本	出会いの印象をプラスに 挨拶のポイント 印象的な自己紹介	人とのふれ合いは挨拶から 早く気がついたほうから挨拶 初対面の人に自己紹介
	正しい動作	呼吸法・発声法 正しい声の出し方 正しい口のあけ方 早口ことば	歯切れのよいはっきりとした 言葉ではなす 相手の目をみて話す 語尾をはっきりと
	言葉使い	聞き上手になるには 効果的な聞き方 相手の心を知る法	話上手より聞き上手 相手にあわした言葉選び なごやかな表情で
	接客の基本	習慣を身に付ける 待ち時間の上手な活用法 有効な時間の使い方	思いやりの心を伝える 安心感を与えるには 接客5大用語
	電話対応の基本	習慣を身に付ける 待ち時間の上手な活用法 有効な時間の使い方	1日の行動計画
	各種マナー	習慣を身に付ける 待ち時間の上手な活用法 有効な時間の使い方	自分から働きかける 報・連・相の法
評価方法	定期考査 ・ 小テスト ・ 授業態度 ・ 出席状況		
その他			

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	エステティック技術	課程	職業実践専門	単位数	1	美容師(実務経験あり)
授業形態	一斉授業	学年	1	時間	30	
教科目標	エステ技術についての基礎知識を衛生的・能率的に実践する態度と習慣を養い 工夫と創造の能力を身に付けさせるまた、正しい美容器具の取り扱い方法を理解させる					
学習方法	教科書の内容を中心に、問題集・教材プリント(図解)DVD・などを用いて学習をする					
評価観点	・出席状況及び授業態度。 ・課題の提出状況。 ・定期考査					

学 習 計 画

項目	学習内容	
エステティック概論	エステティックの歴史 カウンセリング	エステティックの言葉の歴史 エステティックの誕生と発展 日本でのエステティック エステティックの定義 エステティックの内容 エステテシヤンの心得 接客心理・スキンチェック 自己カルテの作成 顧客カルテの作成
エステ技術の実際	クレンジング フェーシャル・マッサージ 吸 引 圧迫と振動	クレンジングの目的 クレンジングの実際 フェーシャル・マッサージの目的 フェーシャル・マッサージの実際 吸引の目的と効果 吸引の目的実際 圧迫と振動の目的と効果 圧迫と振動の実際
エステ技術の実際	スチームタオル パック	スチームタオルの目的と効果 スチームタオルの実際 パックの目的と効果 パックの実際
評価方法	定期考査 ・ 小テスト ・ 授業態度 ・ 出席状況	
その他		

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	香粧品化学	課程	職業実践専門	単位数	1	美容師(実務経験あり)
授業形態	一斉授業・実験観察	学年	1	時間	30	
学習到達目標	○美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、科学的知識と器具や香粧品の適正な取り扱いが不可欠であること理解する					
使用教科書等	香粧品化学(日本理容美容教育センター)					
評価観点	・出席状況及び授業態度 ・課題の提出状況 ・定期考査					

学 習 計 画

大単元	中単元	学習内容	時数
香粧品概論	1. 節香粧品の社会的意義と品質特性 2. 香粧品の規制 3. 香粧品の安定性と取り扱い上の注意 4. 香粧品と安全性	・香粧品の社会的意義、品質と必要条件、香粧品の規制について理解する。 ・香粧品の定義、製造販売の規制、品質等の規制、表示・広告の規制について理解する。 ・香粧品の安定性、安全性、トラブルについて理解する。	30
香粧品の基礎化学 の理解するため	1. 物質の構成 2. 物質(水)の構造 3. 溶解とコロイド 4. イオンと水素イオン指数(pH) 5. 物質の変化と化学反応 6.タンパク質	・参考資料や写真などを見ながら、必要な化学の知識を理解する。	
香粧品用原料	1.香粧品の対象となる人体各部の性質	・香粧品の種類と機能について理解する。	
	2.水性原料	・皮膚と水について	
	3.油性原料	・爪、まぶた、口唇の性状について理解する。	
	4.界面活性剤	・香粧品の成り立ちについて知る。	
	5.高分子化合物	・原料の基剤、水、エタノールについて理解する。	
	6.色材	・油脂、ロウ類、炭化水素、その他の油性原料の種類、機能について理解する。	
	7.香料	・界面活性剤の種類、性質、香粧品への応用を知る。	
	8.その他の配合成分	・高分子化合物の種類や特性、香粧品への応用を理解する。	
	9.ネイル、まつ毛エクステンション用材	・色材の種類、や特性を理解する。 ・防腐、殺菌剤、酸化防止剤、保湿剤、紫外線吸収剤、収れん剤、ホルモン、ビタミンなどの種類や役割を理解する。 ・まつ毛エクステンションに使用される接着剤やマニキュアに使用される塗料について知る。	
評価方法	定期考査 ・授業態度 ・出席状況		
その他			

浜田ビューティーカレッジ シラバス						
科目名	美容技術理論	課程	職業実践専門	単位数	3	美容師(実務経験あり)
授業形態	一斉授業	学年	1	時間	90	
学習到達目標	優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならない事を強調し、美容師としての技術の基本を身に付けさせることに努める。					
使用教科書等	(日本理容美容教育センター)					
評価観点	・出席状況及び授業態度。 ・課題の提出状況。 ・定期考査					

学 習 計 画			
	大単元	中単元	時数
	美容技術理論を学ぶにあたって	・美容理論と美容技術 ・技術における作姿勢 ・人体の各部の名称	90
	美容用具	・美容技術における用具	
	シャンプーング	・シャンプーング総論 ・サイドシャンプー ・バックシャンプー ・リンスコンディショナー、トリートメント ・スキャルプトリートメント	
	ヘアデザイン	・美容とデザイン	
	ヘアカットting	・カットtingとは ・シザーズとレザーの扱い方。 ・カットtingの正しい姿勢。 ・ブロッキング ・ヘアカットtingに基礎理論。 ・ベーシックなカット ・シザーズ、レザーによるカット技法。	
	パーマメントウェーブ	・パーマメントウェーブの歴史。 ・パーマメントウェーブの理論。 ・パーマ剤の分類。 ・パーマ剤に関する注意事項。 ・パーマメントウェーブ技術。	
	ヘアセッティング	・ヘアセッティングとは ・ヘアパーティング ・ヘアシェービング	

		・ヘアカーリング ・ヘアウェービング ・ローラーカーリング ・ブロードライ ・アイロンセッティング ・バックコーミング ・アップスタイル	
	ヘアカラーリング	・ヘアカラーリング概論 ・ヘアカラーの種類 ・ヘアカラーのタイプ別特徴 ・染毛のメカニズム ・色の基本 ・毛髪のレベルとアンダートーン ・パッチテスト(皮膚貼布試験) ・染毛剤使用時の注意事項 ・酸化染毛剤(アルカリセイタイプカラー)の技術手順 ・酸性染毛料の技術手順 ・ヘアブリーチ(脱色)	
評価方法	定期考査 ・ 小テスト ・授業態度 ・出席状況		
その他			

浜田ビューティーカレッジ シラバス						
科目名	総合美容実習	課程	職業実践専門	単位数	9	美容師(実務経験あり)
授業形態	実技	学年	1	時間	270	
学習到達目標	・美容師としての基礎や実践に必要な技術、知識、創造能力を身に付ける。					
使用教科書等	(日本理容美容教育センター)					
評価観点	・出席状況及び授業態度。 ・課題の提出状況。 ・定期考査					
学 習 計 画						
	大単元	中単元				時数
	清掃の在り方	なぜ、清掃が大事なのか				270
	大会等の練習					
	美容技術全般	シャンプー				
		ワインディング				
		アップスタイル				
評価方法	実技 ・授業態度 ・出席状況					
その他						

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	芸術	課程	職業実践専門	単位数	1	担当	琴野
授業形態	一斉授業	学年	1	時間	30		

学習到達目標	・AFT色彩検定3級取得 ・光、視覚、色の三属性及び配色法を理解させる
使用教科書等	AFT教材
評価観点	・色に関しての意欲・関心 ・色の三属性とトーン、配色法の理解

学 習 計 画

	大単元	中単元	時数
	・色相環を学び、覚える ・光とは何か ・眼の仕組み ・色の混色について ・色の三属性について ・色の視覚効果	・配色カードを貼り、実際に色相環を作成	30
	・色の配色法 同一色相・隣接色相 類似、中差 対象、補色 ・トーン配色法 同一トーン、類似トーン 対照トーン	・配色カードを貼り、配色のルールを身に付ける	
	ファッションカラー インテリアカラー エクステリアカラー	・ファッションについてカラーコーディネートをみる ・インテリアについてカラーコーディネートをみる ・エクステリアについてカラーコーディネートをみる	
	・過去問		
	評価方法	定期考査 ・ 小テスト ・授業態度 ・出席状況	
その他			